

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.38</b>				<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.6</b>	0.15	-	-		<b>3.6</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>4.3</b>	0.40	-	-		
1 室内騒音レベル		防音対策:GB2枚張りですらぶからすらぶまで GW24K t50充填		4.4	1.00	3.0	-		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.2</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		防音対策:GB2枚張りですらぶからすらぶまで GW24K t50充填		3.0	0.73	3.0	-		
2 界壁遮音性能				4.0	0.27	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.2</b>	0.35	-	-		<b>3.2</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.5</b>	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.41	3.0	-		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能		西側Low-e複層ガラス、アルミエキスパンドパネルルーバー		4.0	0.23	3.0	-		
4 ゾーン別制御性		冷暖フリーのビルマルチを採用		4.0	0.36	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.2</b>	0.25	-	-		<b>3.2</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>3.8</b>	0.36	-	-		
1 昼光率		昼光率平均 2.5%以上 を確保		5.0	0.41	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.59	3.0	-		
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御				3.0	1.00	3.0	-		
3 映り込み対策				-	-	-	-		
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>	-		
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.5</b>	0.25	-	-		<b>3.5</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
<b>4.2 換気</b>				<b>4.2</b>	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.38	3.0	-		
2 自然換気性能		有効開口面積 100cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以上		5.0	0.23	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		給排気ガラの方位を分け、6m以上の隔離を確保		5.0	0.38	3.0	-		
4 給気計画				-	-	-	-		
<b>4.3 運用管理</b>				<b>4.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		ビル全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-		<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.0</b>	0.40	-	-		<b>4.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		執務スペース一人当たり9m <sup>2</sup> 以上		4.0	0.23	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		OAフロア		3.0	0.23	3.0	-		
3 バリアフリー計画		藤沢市バリアフリー条例基準を満たす		4.6	0.55	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.7</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		天井高さ(事務所) = 2800mm		3.6	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		1%以上のリフレッシュスペースを確保		4.0	0.33	-	-		
3 内装計画		インテリアパス・模型による検討		3.6	0.33	-	-		
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.3</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		外部金物の防錆処理		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		メンテナンスのしやすい設計に配慮		4.6	0.50	-	-		
3 衛生管理業務				-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.31	-	-		<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		15年の維持管理計画に基づいた更新計画		4.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.4 信頼性			3.1	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用電源、地下への非設置	3.7	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高 = 4000mm以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.12	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	4.5
1 生物環境の保全と創出		中高木を中心に敷地を緑化、造園維持管理業者が常駐	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		壁面・ファサードを緑化、神台公園からの景観に配慮	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		都市空間活動上のアメニティ向上に配慮	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		Low-eガラス、ルーフ、壁面緑化	2.9	0.25	-	-	2.9
2 自然エネルギー利用			4.0	0.21	-	-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電設備	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=22.3%	4.3	0.32	-	-	4.3
集合住宅以外の評価( ERRによる評価)		ERR=22.3%	4.3		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.5	0.21	-	-	3.5
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		マスターリース方式による維持管理計画	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		スケルトン部分と内装部分を分離して計画	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1 消火剤		ハロゲン化消火剤の不使用	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		1.2階をセットバック	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		周辺温熱環境に配慮	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車台数33台、駐輪台数183台を確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	